

十兵杉



1626年に諸国漫遊に旅立つ十兵衛が植えたもので、柳生の山に立つ巨木が十兵衛杉です。今は、落雷により枯れています。保存され、残されています。

剣塚



剣塚は、今から600年前に後醍醐天皇が笠置山に潜行のみぎりに柳生家の先祖が忠勤をぬきん出て古城山に陣を張ったという柳生谷を眼下にながめ、十兵衛杉、家老屋敷なども見えます。

旧柳生藩家老屋敷



道の西側に見える豪華な石垣は、もと柳生藩財政の立て直しをした家老小山田氏の屋敷で、石垣に天保12年(1841年)に築かれたと記されています。昭和46年放映のNHK大河ドラマ「春の坂道」もここで構想が練られました。

花しょうぶ園



八坂神社の南に広がる「柳生の里花しょうぶ園」には、約八十万本の花しょうぶが植えられています。六月初旬から下旬にかけて、色とりどりの花がいつせいに咲き、とてもきれいです。

正木坂剣禅道場



柳生新陰流の精神「剣禅一如」に通じる剣道と座禅の道場で、昭和40年、当時の住職・橋本定芳氏の尽力で建立されました。正面入口は京都所司代の玄関口を移設した道場です。

芳徳寺



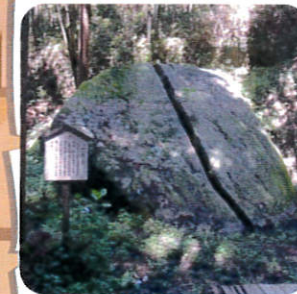
1638年に柳生又右衛門宗矩が亡父石舟斎宗庵の供養のために建てました。開山は柳生又右衛門宗矩と仲のよかつた沢庵和尚(漬け物の「たくあん」は沢庵和尚が初めて作ったとも言われています。)です。

ほうそう地蔵



「ほうそう地蔵」の右下に「正長元年ヨリ サキ者、カンヘ四カン カウニ、ヲキメアル ヘカラス」と刻まれており、大正年間に地元柳生町の郷土史家杉田定一氏により、「正長元年(1428)以前の神戸四箇郷(春日社領の大柳生・柳生・阪原・邑地)の借金は取り消された」と書かれていることが明らかになりました。

一刀石



戸岩谷にある約7m四方ほどの巨石で中央から2つに割れています。柳生宗巖が修行中にこの戸岩谷にわけ入ったところ天狗がいたので試合をしました。その時、宗巖は一刀のもとに天狗を切り捨てたと思いましたが、刀はその場にあった巨石を2つに割っていました。これを後世一刀石と呼ぶようになりました。

柳生観光名所

- ① 十兵衛杉
- ② 一刀石
- ③ 旧柳生藩家老屋敷
- ④ 花しょうぶ園
- ⑤ 正木坂剣禅道場
- ⑥ ほうそう地蔵
- ⑦ 剣塚
- ⑧ 芳徳寺
- ⑨ もみじ橋
- ⑩ 井倉堂

柳生観光マップ



井倉堂



陶器全般についての製作工程と、その完成品を展示しています。
作られたとう器はとてもきれいです。

もみじ橋



もみじ橋はその名の通り、もみじの色をしています。秋には、もみじが色づき、きれいです。

柳生新陰流で知られる剣豪柳生の里は奈良市の東北部にあり自然豊かな里です。
柳生石舟齋宗厳が、徳川家康に無刀取を披露し、將軍家の兵法指南役（剣術などの武術を教導く人）として仕えました。

